

第13回熊本市液状化対策技術検討委員会 協議資料

- 【議題1 ⑥地区の観測機器設置状況について】
- 【議題2 ⑦地区の観測機器設置案について 】

熊本市

令和3年11月24日

【近見地区全体】

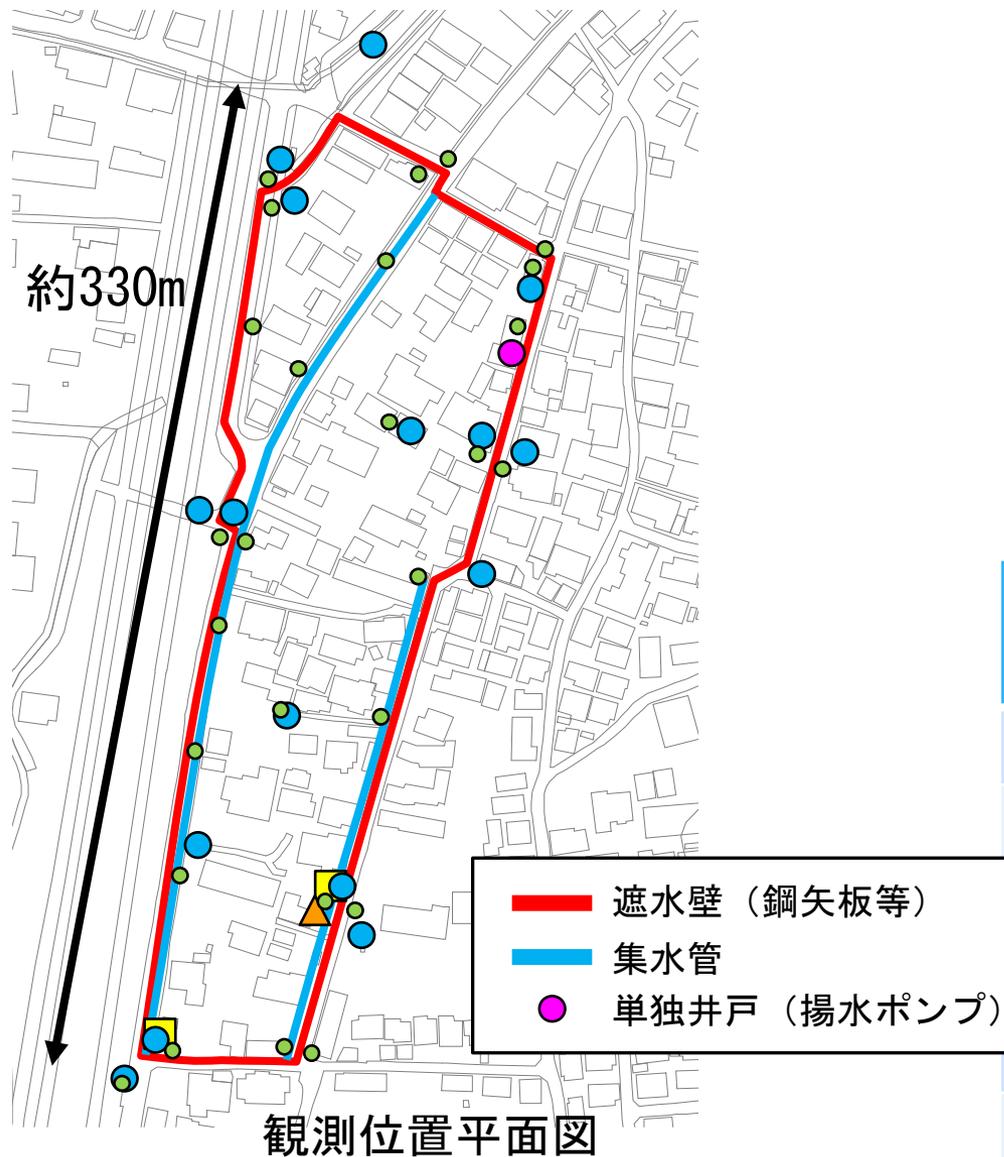


- 近見地区では、先行地区と呼ばれる④地区に続き、⑥地区及び⑦地区でモニタリングを行う。

観測対象と結果の利用

対象	結果の利用
水位	平面的な水位低下の確認 遮水効果の確認 区域外への地下水障害の有無
沈下	集水管付近、最遠部、代表箇所、 区域外の沈下障害の有無
水質	代表箇所の水質変化の有無

【⑥地区のモニタリング配置図】・近見⑥地区では、以下の観測箇所を設け、水位、沈下、水質を把握する。



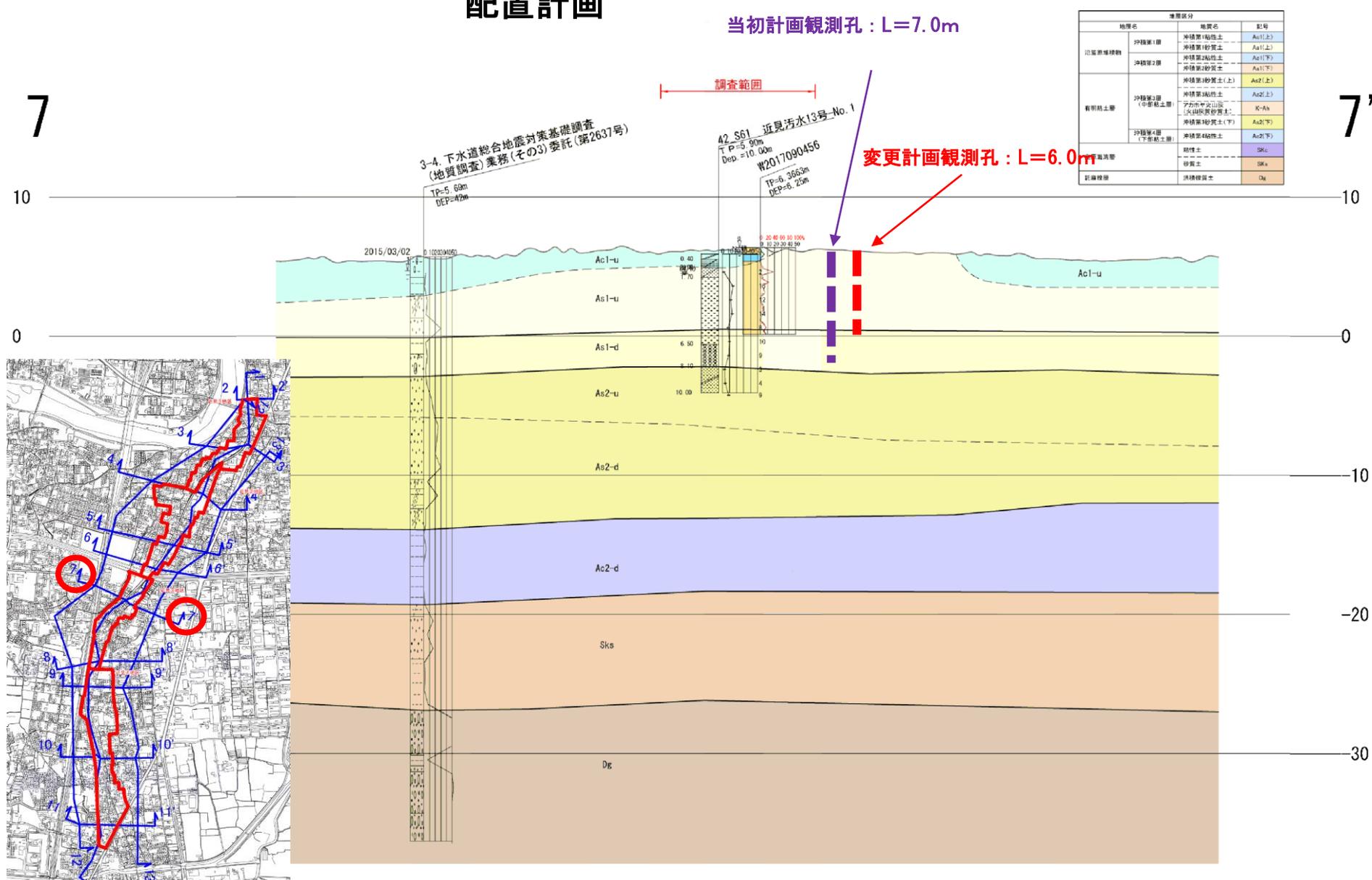
各項目の観測箇所数

設置計器	観測箇所数
自記水位計	16基
層別沈下計	1基
沈下鉞	27点
排水ポンプ	2台

各項目の計測方法

項目	計測方法
水位低下	○ 自記水位計
地盤沈下	● 沈下鉞、▲ 層別沈下計
代表宅地	代表宅地観測点 (6宅地)
水質変化	■ 水質分析 (年2回)
排水量	■ ポンプ制御装置
降雨量	雨量計 (気象庁)

←西側 ⑥地区北側地質断面図(東西断面)と水位観測孔の配置計画 東側→



議題(1・2) ⑥地区における観測孔状況

⑥-⑦地区境界付近地質断面図(東西断面)と水位観測孔の配置計画

←西側

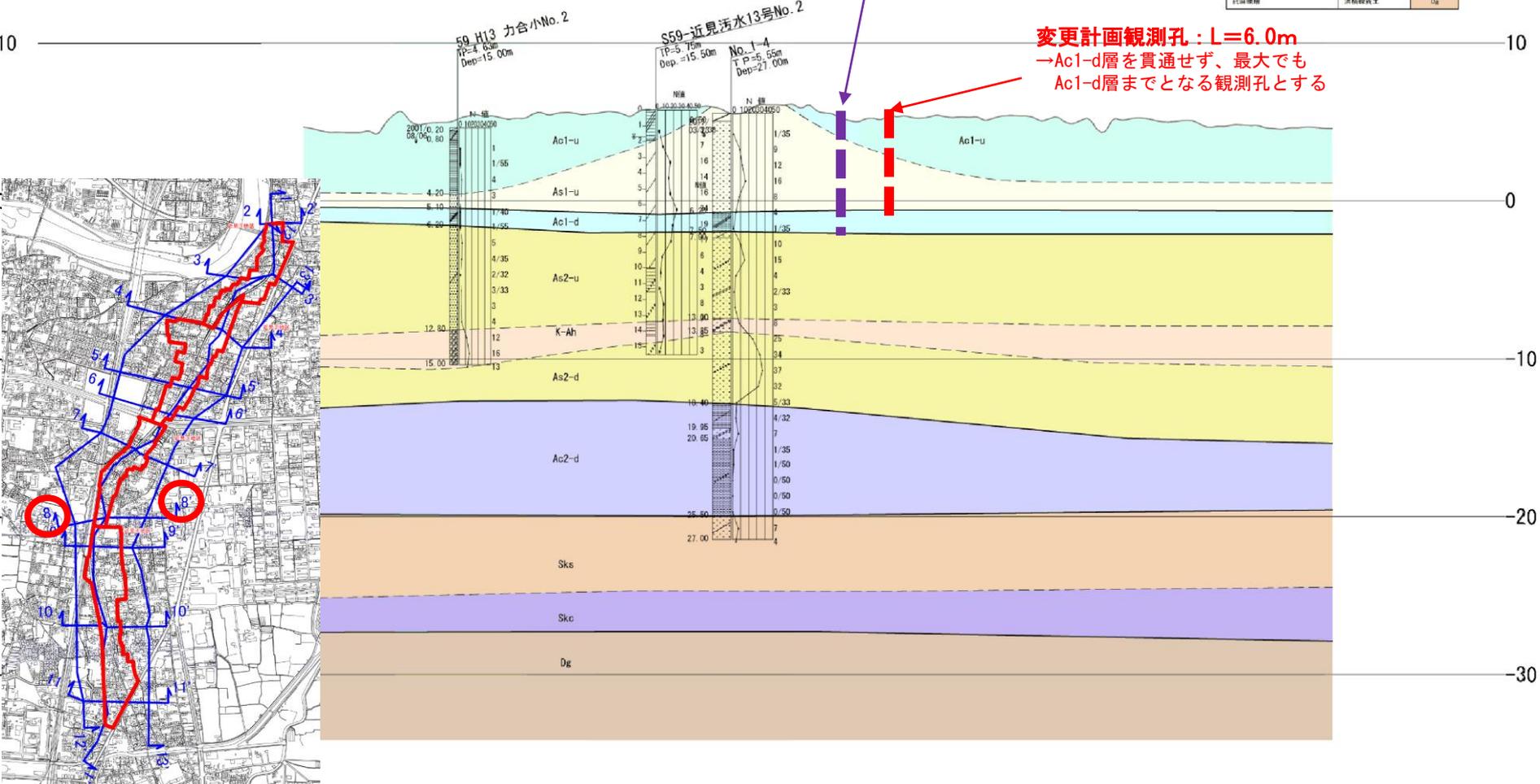
8

8'

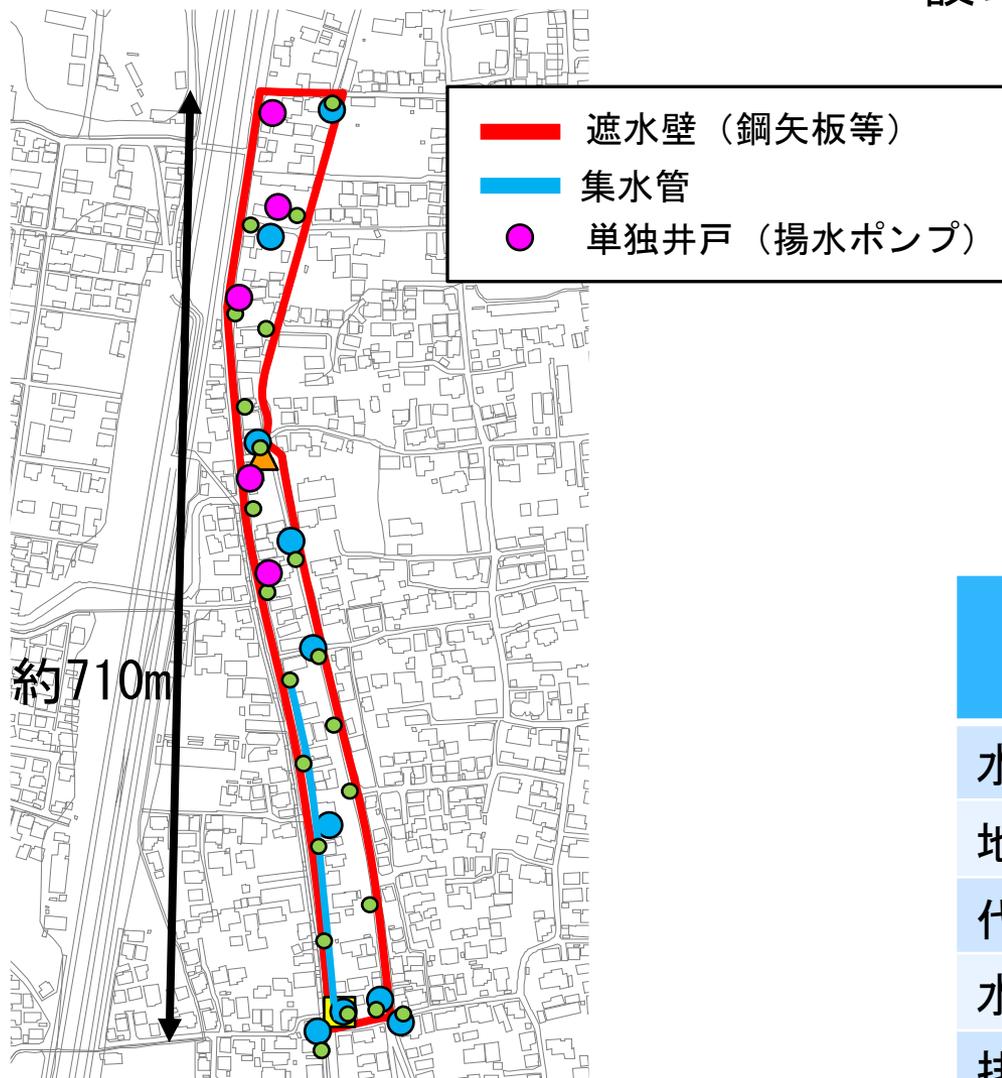
当初計画観測孔 : L=7.0m
 →Ac1-d層を貫通し、下の砂層(As2-u)まで到達し、地下水低下層(As1-u)以外の水位を計測する恐れあり

変更計画観測孔 : L=6.0m
 →Ac1-d層を貫通せず、最大でもAc1-d層までとなる観測孔とする

地層区分		
地層名	地質名	記号
辺津原地層	沖積第1粘性土	Ac1(上)
	沖積第1砂質土	As1(上)
	沖積第2粘性土	Ac1(下)
	沖積第2砂質土	As1(下)
有明粘土層	沖積第3砂質土(上)	As2(上)
	沖積第3粘性土	Ac2(上)
	沖積第3粘性土(下部粘土質)	K-Ah
	沖積第3砂質土(下)	As2(下)
島原海成層	粘性土	Skc
	砂質土	Skc
琵琶湖層	沖積第4粘性土	Dg



【⑦地区のモニタリング配置案】・近見⑦地区では、以下の観測箇所を設け、水位、沈下、水質を把握する。



観測位置平面図

各項目の観測箇所数

設置計器	観測箇所数
自記水位計	10基
層別沈下計	1基
沈下鉞	22点
排水ポンプ	1台

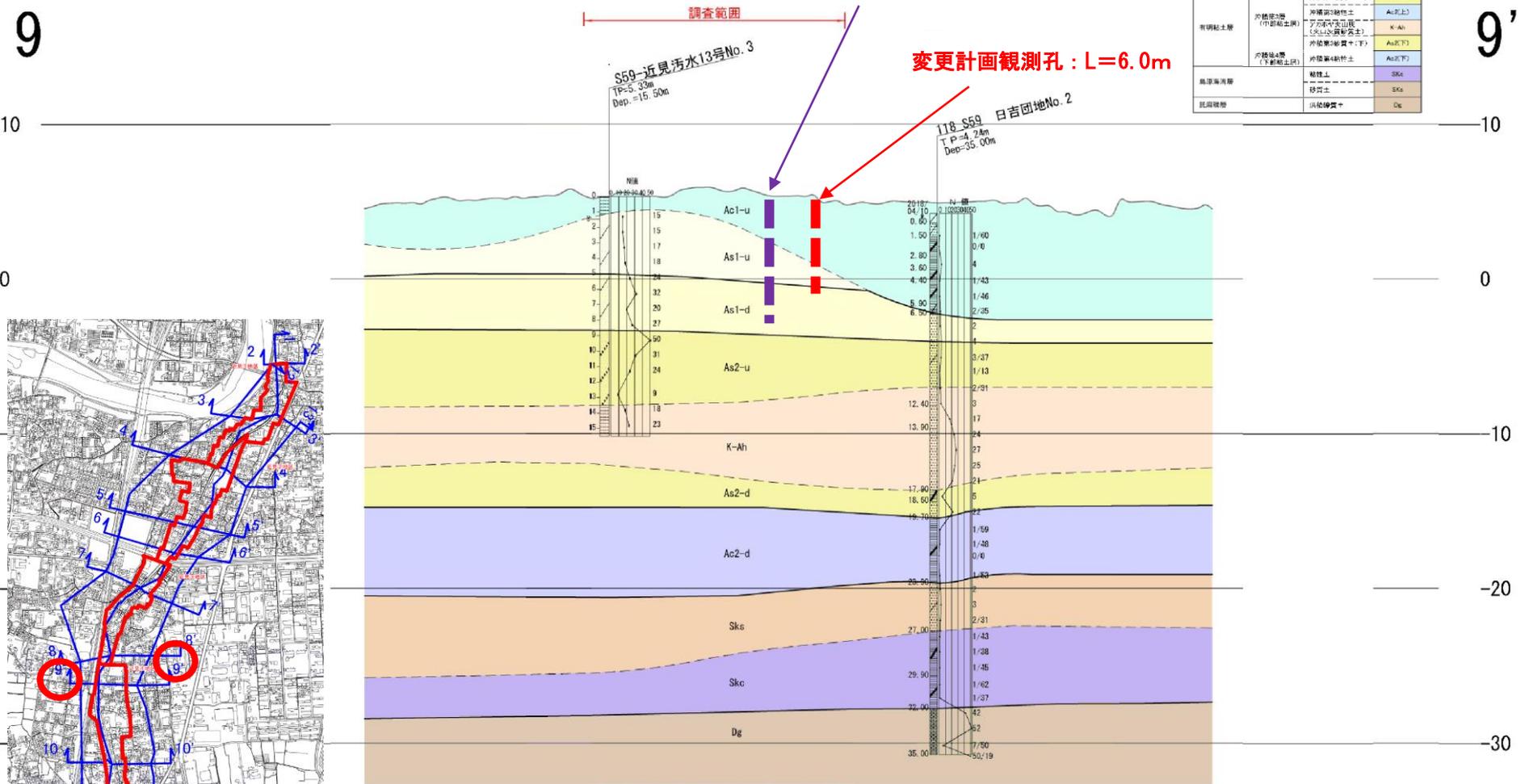
各項目の計測方法

項目	計測方法
水位低下	○ 自記水位計
地盤沈下	● 沈下鉞、▲ 層別沈下計
代表宅地	代表宅地観測点(7宅地)
水質変化	■ 水質分析(年2回)
排水量	■ ポンプ制御装置
降雨量	雨量計(気象庁)

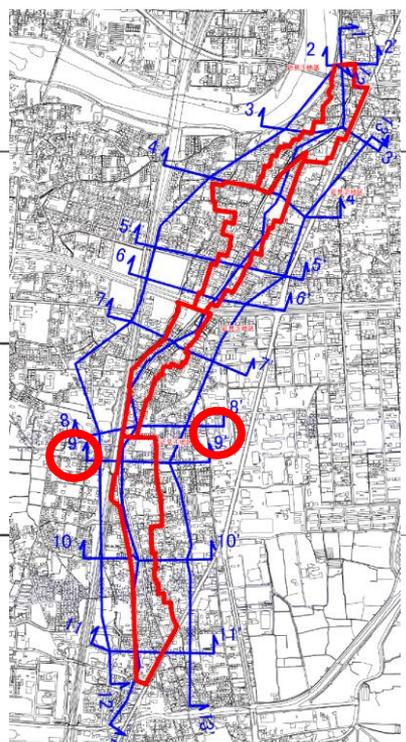
←西側

⑦地区中央地質断面図（東西断面）と水位観測孔の配置計画

東側→



地層区分	地層名	記号
汎用土層	汎用土層(砂質土)	As(上)
	汎用土層(砂質土)	As(下)
	汎用土層(砂質土)	As(上)
	汎用土層(砂質土)	As(下)
有明土層	有明土層(砂質土)	Ac(上)
	有明土層(砂質土)	K-Ah
	有明土層(砂質土)	As(下)
	有明土層(砂質土)	As(下)
島原海浜層	砂質土	Sks
	砂質土	Sks
既設地層	汎用土層	Dg



今後のスケジュール

地区	項目	令和3年度(2021年度)			令和4年度(2022年度)									令和5年度(2023年度)																	
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
⑥地区	液状化対策工事 (対策施設設置)	機器設置																													
	モニタリング調査				工事期間			地下水位低下期間																							
⑦地区	液状化対策工事 (対策施設設置)	機器設置																													
	モニタリング調査				工事期間			地下水位低下期間																							
技術検討委員会		機器設置状況報告 (第13回)			必要に応じて実施									地下水位低下完了																	